

Kenevo

ユーザーガイド

※付属の取扱説明書も必ず参照ください。

2026年8月版



【目次】

1. はじめに

2. 充電について

3. バッテリー残量の確認方法

4. ビープ音と振動信号

5. 基本機能

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1) 座位動作サポート機能 1 | : 歩行モードA / B / B+ |
| 2) 座位動作サポート機能 2 | : 歩行モードA / B / B+ |
| 3) 義足装着機能 | : 歩行モードA / B / B+ |
| 4) 座位動作サポート機能 3 | : 全歩行モード |
| 5) 自転車エルゴメーター機能 | : 全歩行モード |
| 6) 立位動作サポート機能 | : 全歩行モード |
| 7) 車いす機能 | : 全歩行モード |
| 8) 立位機能 | : 歩行モードC |
| 9) イールディングサポート機能 | : 歩行モードC |
| 10) マニュアルロック機能 (歩行モードB/B+/C) | |

6. 訓練フィードバック音

7. ブルートゥースのON/OFF

8. 保証と定期メンテナンス

1. はじめに

本補助資料は、Kenevoに関する補助資料です。(製品番号：3C60 / 3C60=ST)
必ず付属の「取扱説明書」を参照してください。

2. 充電

1) 充電

使用可能時間 ： 丸1日
使用状況によって異なるため、**毎日充電**してください。



本体後方に、充電口があります。マグネット式です。
充電器を接続し振動したら充電が開始された合図です。
ランプの点滅状況も確認してください。

 **メロディー音が鳴った場合の対応**

3回連続で充電器の接続と取外しを繰り返した場合、メロディー音が鳴りスリープモードが作動してしまいます。この状態でKenevoは機能しません。
再度、充電器を接続し、振動がするまで10秒ほど待ち、充電器を取外し使用してください。

充電時のピープ音と振動

ピープ音	振動信号	状態
1回短く	---	充電器を取付けた、または 充電が開始する前に、充電器が取外されました
---	3回短く	充電が開始されました。充電器を接続して3秒後に振動します 充電する際は、 必ず振動を確認してください

ピープ音	振動信号	状態 / 解決方法
4回短く 約20秒間隔	---	許容範囲外で充電が行われています。 充電ができません <重要> 充電条件 +5℃ ～ +40℃ 内で充電を行って下さい

充電後、充電器を取外した際のピープ音と振動

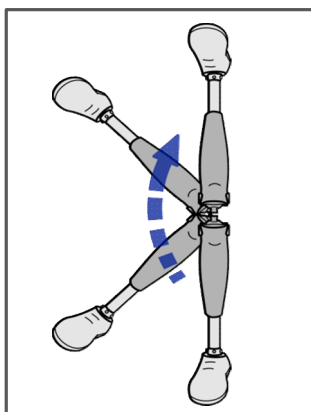
ピープ音	振動信号	状態
1回短く	1回短く (ピープ音の前)	Kenevoは正常に使用できます
3回短く	---	メンテナンス時期が近づいています Kenevoは正常に使用できます

充電器の状況を確認してください。

充電中	満充電
黄色のLEDが点滅	緑色のLED点灯
	

3. バッテリー残量の確認方法

1) 膝継手を180°回転



膝継手を180°回転させます。

約2秒キープするとビープ音で確認できます。

残量チェック

5回ビープ音	: 80%以上
4回ビープ音	: 65%以上
3回ビープ音	: 50%以上
2回ビープ音	: 35%以上
1回ビープ音/3回長い振動	: 20%以上
1回ビープ音/5回長い振動	: 20%未満

[補足]

充電器を接続している間、確認音はなりません。

2) connectgoユーザーアプリに接続

connectgoユーザーアプリに表示される値で、確認することが可能です。



4. ビープ音と振動（使用中のエラー信号）

予期せぬ場面でビープ音や振動が発生した場合は、無視せずに必ず確認を行ってください。

1) 充電残量に関する信号

速やかに充電してください。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
---	3回長く	バッテリー残量レベル25%以下	早めに充電してください
---	5回長く	バッテリー残量レベル15%以下	すぐに充電してください
10回長く	10回長く	バッテリー残量レベル0%以下 ビープ音と振動信号が発信された後、 バッテリー切れモードに切替わり、その後、電源が切れます	すぐに充電してください

2) エラー信号

担当の義肢装具製作施設へ連絡してください。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
30回長く	1回長く 短く連続/約3秒間 隔	重大なエラー：弁が動かないなど、セーフティモードに切替わらない可能性があります	制限付きで歩行可能です 充電器の取付と取外しを行うことで解除されることがあります 解除されない場合は、義肢装具製作施設にて点検を受けてください
		チューブと本体のケーブルを外した	ケーブルの接続を確認し、充電器の接続と取外しを行ってください

3) オーバーヒートに関する信号

ビープ音	振動信号	状態	対処法
30回長く	1回長く 約5秒の間隔	油圧シリンダーのオーバーヒート	活動量を抑えてください シリンダーは熱くなっていますので、触らないでください

セーフティモード：

致命的エラー（センサーが反応しないなど）が生じると自動的にセーフティモードに切替わります。
充電器の取付け(振動信号を確認)と取外しを行なうことで、セーフティモードを解除することができます。
解除されない場合は、義肢装具製作施設にて点検を受けてください。

4) 上記以外の断続的なビープ音と振動信号

担当の義肢装具製作施設へ連絡してください。

5. 基本機能

1) 座位動作サポート機能 1（歩行モードA/B/B+）



座位動作のトリガーを検知すると、膝が曲がります。

- 体重の10%～70%の荷重
- 義足が後方へ傾くこと

【補足】

歩行モードCはイールディング機能での座位動作になります。

2) 座位動作サポート機能 2（歩行モードA/B/B+）



健側を軸に座る際、義足が60°後方へ傾いてきたことを検知し、膝継手は自動的にゆっくり屈曲します。

座位動作のトリガーを起動させられない場合などに有効です。
無理にロック解除をする必要はありません。

3) 義足装着機能（歩行モードA/B/B+）



充電器を取外しセルフモードが正常終了した5秒後から、Kenevoを屈曲させることができます。

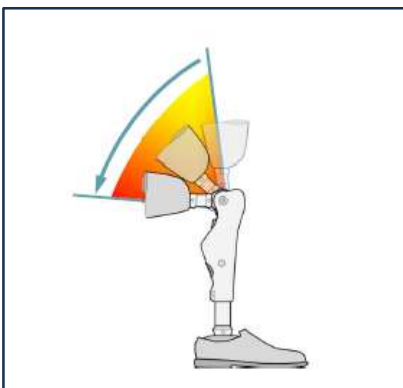
屈曲角度90°以下で屈曲動作を止めた場合、その角度でロックします。

義足装着時に、座位動作サポート機能を利用して義足を曲げることが難しい方への新たな選択肢です。

下記のいずれかを検知した場合、装着機能は解除されます。

- 荷重を検知した
- 膝の屈曲を検知した

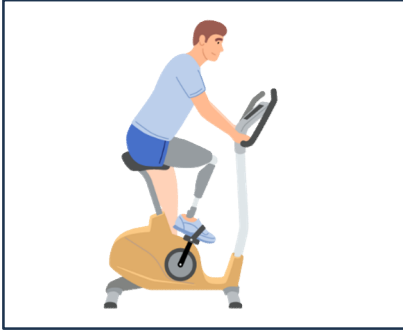
4) 座位動作サポート機能 3（全歩行モード）



屈曲角度が増すと油圧抵抗も増加します。

安全な座位動作をサポートします。

5) 自転車エルゴメーター機能 (全歩行モード)



屋内用で固定されたバイクを漕ぐことが可能です。

動作での起動：

サドルに座り、足部を安定させた後、ペダルを漕ぎます。
約2回転漕いだ後、油圧抵抗が下がり軽く漕ぐことが可能になります。

アプリでの起動：

サドルに座り、足部を安定させます。
connectgoユーザーアプリのマイモードで切替を行うと、ひと漕ぎ目から軽く漕ぐことが可能になります。

<モード解除のトリガー>

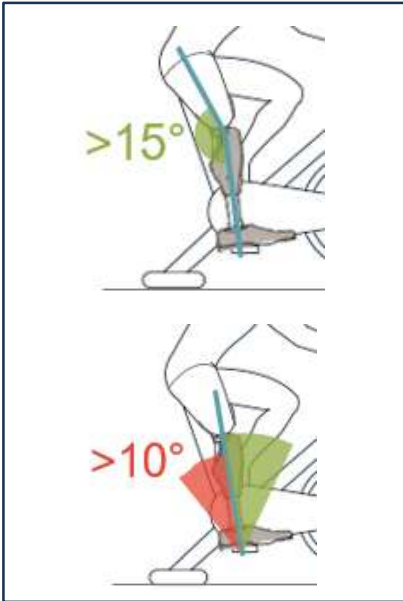
下記のいずれかを検知した場合、Kenevoは設定した歩行モードに戻ります。

- Kenevoの屈曲角度が15°以下になる（膝が伸びた状態）
- Kenevoが10°以上前傾または後傾する

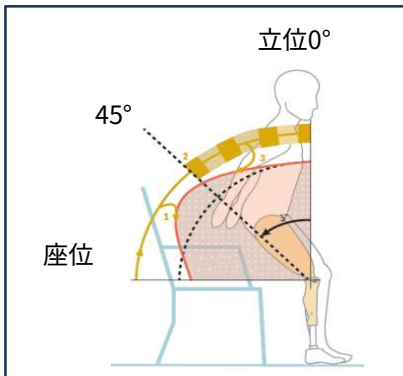
[重要]

屋内用で固定されたバイクでのみ使用が可能です。

屋外で通常の自転車での使用は大変危険ですのでおやめください。
リカンベントバイク（ペダルが前方にあるタイプ）では、モードの解除を検知するため、ご利用頂けません。



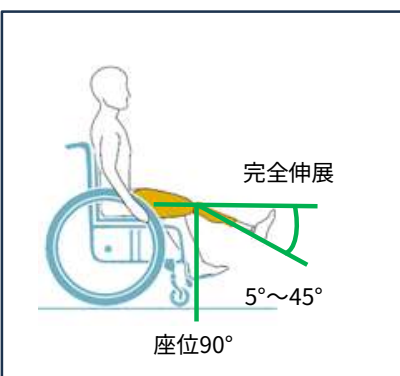
6) 立位動作サポート機能 (全歩行モード)



屈曲角度45°～5°(立位)の途中で立ち上がりを中断すると、屈曲方向にロックします。
ロックしている間に前方にある物を掴み、身体を引っ張り上げ、立ち上がることも出来ます。

屈曲角度90°(座位)～45°の途中で立ち上がりを中断すると、設定抵抗値で屈曲方向に曲がります。
転倒や、座面との衝撃を防ぎます。

7) 車いす機能 (全歩行モード)



座った状態から、膝を伸展(5°～45)させると、その位置でロックします。
車いす使用時に、義足が引っかからず操作がしやすくなります。

ロック解除方法

- 膝を伸展させる
- 足部つま先をプッシュする（壁を蹴るなど）

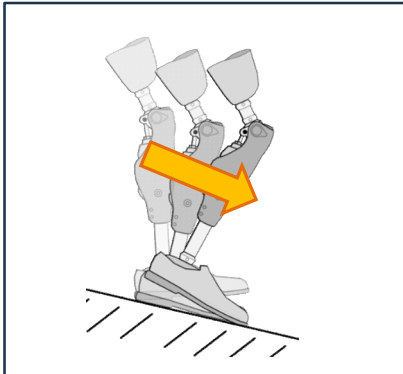
8) 立位機能（歩行モードC）



屈曲位で動きが止まると、瞬時に屈曲方向にロックします。
信号待ち、坂道での立ち話など、安心して義足に体重をかけ、安全に立位を保つことが可能です。

解除方法

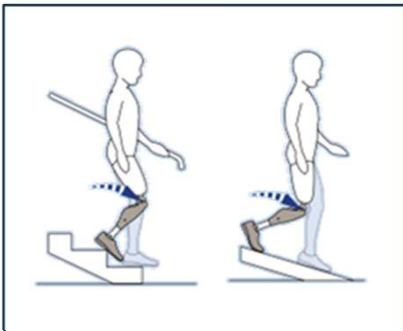
- ・ 膝を伸展させる
- ・ 膝の傾きを検知する（膝が前傾または後傾する）



<膝の動きの検知>

Kenevoが動けば（前傾または後傾する）、ロックは瞬時に解除します。

9) イールディングサポート機能（歩行モードC）



階段の下りまたは坂道の下りを検知すると、油圧抵抗が大きくなり安定した歩行が可能になります。

10) マニュアルロック機能（歩行モードB/B+/C）



膝を完全伸展させて、Kenevoの前面をたたくことで、ロックすることができる

ロック：

- ・ 膝継手前面を3回たたく
- ・ ビープ音と振動が1回ずつ発生し、膝が完全伸展位でロックする

解除：

- ・ 同じ動作を行う
- ・ 充電器を取付け、取外しを行う

【注意】 マニュアルロックがONの時、
遊脚相へ切替わりません
座位動作はできません
アプリ操作はできません

振動の多い場所で仕事や生活をされる場合、
本機能を使用しない場合は、**常にOFF**にしてください。
振動を3回のタップ信号と認識し、誤作動が発生する場合があります。

6. 訓練フィードバック音

リハビリにおいて、荷重のかけ方などの練習に活用できます。
訓練項目は1つずつチェックをいれてください。複数項目チェックすると、正しく機能しません。

詳しくは「connectgoユーザーアプリ操作マニュアル」を合わせて参照ください。

歩行モードA

← トレーニングの機能

訓練中は、構成部品のフィードバック信号を使用してください。

義肢への荷重と前足のかかとへの荷重は同時にフィードバックできません。

義肢への荷重のフィードバック ③
立ったり座ったりするときの体重の左右バランスを鍛えるために練習するため。
義肢の荷重が40%未満：高い音
義肢の荷重が70%以上：低い音

つま先 - かかとの義肢への荷重のフィードバック ④
前後に体重を移動すること、および歩行時の足のロール運動を練習するため。
前足部負荷：高い音
かかと負荷：低い音

すべてを無効にする

歩行モードB/B+/C

← トレーニングの機能

訓練中は、構成部品のフィードバック信号を使用してください。

スタンスリリースのフィードバック ①
立脚相から遊脚相への移行を練習するため。
遊脚相が作動すると、信号音が鳴ります。

立脚相での屈曲のフィードバック (モードB+/C) ②
調和のとれた歩行パターンを練習するため。
平地を歩くときに、踵接地後に膝継手が曲がると、信号音が鳴ります。

義肢への荷重と前足のかかとへの荷重は同時にフィードバックできません。

義肢への荷重のフィードバック ③
立ったり座ったりするときの体重の左右バランスを鍛えるために練習するため。
義肢の荷重が40%未満：高い音
義肢の荷重が70%以上：低い音

つま先 - かかとの義肢への荷重のフィードバック ④
前後に体重を移動すること、および歩行時の足のロール運動を練習するため。
前足部負荷：高い音
かかと負荷：低い音

すべてを無効にする

- ① スタンスリリース
- ② 軽度屈曲後の完全伸展
- ③ Kenevoへの荷重
- ④ つま先 - 踵への荷重

① スタンスリリース	② 立脚相での屈曲	③ 義足への荷重	④ つま先 - 踵への荷重
			
遊脚相へ切替わったことが確認できます	義足を乗り越え、完全伸展位に到達したことが確認できます	義足への荷重量、荷重の左右バランスを確認することができます	前後への荷重の移動を確認することができます

7. ブルートゥースのON/OFF



connectgoユーザーアプリを起動させます。

メニュー「パーツ状態」を選択します。

用途：飛行機に乗る場合など、必要に応じてOFFにできます

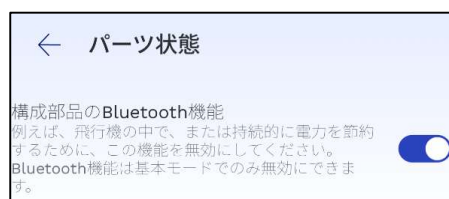
注意：ブルートゥースがOFFの場合、下記の接続が行えません

① connectgoユーザーアプリとの接続

② connectgo.pro調整アプリとの接続

再起動：充電器を接続する または、

Kenevoを180°回転させ、ビープ音を確認する



8. 保証と定期メンテナンス

重要

内容の詳細は購入時にお渡しする保証書にて必ず確認してください。

必ず定期メンテナンスを受けて頂く必要があります。

1) 保証

Kenevoの保証期間には「3年保証」と「6年保証」があります。

保証期間を超えた場合の修理は有償となります。

また、保証期間内であっても不可抗力の起因による、またはオットーボック製以外の部品との組み合わせにより発生した機能不全は、**保証の対象となりません**。

定期メンテナンスが決められた時期に実施されなかった場合も、**保証対象外**になります。

詳細は「保証書」を確認してください。

2) 定期メンテナンス

3年保証の場合：24ヶ月目の前後1ヶ月以内

6年保証の場合：24ヶ月目、及び48ヶ月目の前後1ヶ月以内

*保証書には2ヶ月後までと記載されていますが、代替品との交換や、弊社にメンテナンス品が到着するまでの期間を考慮し、1ヶ月後までには実施をお願いいたします。

24ヶ月目のメンテナンスが実施されなかった場合、保証期間は24ヶ月に短縮されます。

24ヶ月目のメンテナンスは実施したが48ヶ月目のメンテナンスが実施されなかった場合、保証期間は48ヶ月に短縮されます。

3) メンテナンスに必要な物品

下記4点を同梱の上、オットーボックまでご送付ください。

- ① Kenevo本体、②チューブアダプター ＊接続したまま
- ③ 充電器
- ④ 保証書

4) メンテナンス期間 (2026年8月現在)

定期メンテナンスに要する期間は、通常約1ヶ月半かかります。

ただし損傷の度合いによっては、修理を実施するため、数ヶ月かかることがあります。

5) 定期メンテナンス時期のお知らせ

connectgoユーザーアプリに通知



充電器を取外した時のピープ音の回数

- ・ **3回ピープ音**
通常は1回

ottobock.

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載する事を禁止します。

オットーボック・ジャパン 株式会社
www.ottobock.com/ja-jp

2026年8月版